

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
地域学			必修	1	1.2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 宏史 他		D305	sakamoto		木曜日 10：00～12：40	
授業の目的・概要		大学生としての教養と地域行政についての知識を身に着けるため、地域の諸問題や地域連携の実例を学び、今日的課題への取り組み方を考える。専門職を目指す者としてのコミュニケーション能力を養う。 富士河口湖町と大学との連携を基礎に、地域行政の専門家や、実際に地域おこしにかかわっている団体の代表、さらに地域に根差す女子プロサッカーチームから講師に招き、保健・医療、福祉、地域づくりなどの活動について紹介し、活動の実践における今日的課題について解説してもらう。各回講義終了後小テストまたは小レポート課題を行い、結果について解説し理解を深める。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・デベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ その他（		

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

7	地域行政の取り組みの実際と課題(5) 「地域おこし協力隊事業（富士河口湖町本 栖地区の活性化）」についての講義を聴く。 質疑応答	10 月 20 日 [担当] 坂本宏史 [講師] 中原 崇	対面授業	講義後出題される小テストに 解答する。講義から、課題を抽 出し整理する。	4
8	地域連携の実際(1) 地域社会における女 性の活躍の事例を通してこれからの地域 振興のあり方を講義する。	10 月 27 日 [担当] 坂本宏史 堤美智	対面授業	講義後出題される小レポート を提出する。講義から、課題を 抽出し整理する。	4
試	期末試験は行わない 達成度評価、評価のポイントを参照				

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取り組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義終了時に、内容についての小テスト（クイズ）を出題する。各12.5点、計100点満点（全体の100%）			対面講義時間内に Teams 上で出題する。採点后返却する。講義内で講評をおこなう。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		堤 美智、特別講師〔渡辺 和樹（富士河口湖町政策企画課）、五十嵐 雅彦（FC ふじざくら GM）、中村 美瑠（富士河口湖町観光課）、奥脇 有希・藤江 美怜（富士河口湖町健康増進課）、宮下 みほ（富士河口湖町福祉推進課）、杉本 悠樹（富士河口湖町生涯学習課 学芸員）、中原 崇（元地域おこし協力隊）〕					

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

教員の実務経験	富士河口湖役場で町の行政を担当する職員や、地域おこしを実践している元役場職員（地域おこし協力隊）を特別講師として迎える。また専任講師の堤 美智 准教授は、地域経済の振興についての専門家で、国内外の事情に詳しい。
実践的授業の内容	
その他の	授業回の入替えや講義日を変更する場合があるので注意すること。